



国際理解講座

ガーナ協力隊活動と 東日本大震災



unicef 
for every child



『国際協力』とは『見て見ぬふりしないこと』・・・

2005年、菅野さんはガーナで理数科教師として「青年海外協力隊」に参加しました。ガーナの暮らしや文化について、子どもたちの教育のこと、子どもたちの未来を守る活動についてお話いただきます。2年間の任地での活動だけで終わらずに、帰国後もガーナの支援を継続されています。それはどのような活動なのか、日本で暮らしていてもできることのいろいろをお聞きします。



沖縄で暮らしていた2011年に東日本大震災が発生し、「協力隊OV有志による震災支援の会」を組織し、石巻市渡波小学校の避難所で支援活動を始められました。被災者の中から有償ボランティアを募り、「ワタママ食堂」をオープンし、日替わり弁当と惣菜の販売を開始し、地元渡波のお母さんたちが働く場の提供となっています。

国際協力と被災者支援・・・その情熱はどこから？ 聞いてみましょう！

日時：2017年6月24日（土）10:30~12:00

会場：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）3F エッグホール
仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5 022-276-2110
・・・地下鉄南北線旭ヶ丘駅下車 東1番出口より徒歩3分・・・

講師：菅野芳春さん（一般社団法人ワタママスマイル代表理事）

募集：50名 <入場無料>

申し込み：事前に お申し込みください 「参加券」をお送りします

電話 022-218-5358 080-5849-6072

FAX 022-218-3663

メール sn.municef_miyagi@todock.jp

主催：宮城県ユニセフ協会（仙台市泉区八乙女 4-2-2 みやぎ生協 A棟3F）

